

第 2523 回例会

逗子ロータリークラブ Weekly Report

2013-2014 NO. 37 2014年4月10日

本日の進行 (12:30)
吉川雅幸氏 (メルリンチ日本証券)
「世界経済日本経済の行方」
一回のお知らせ
4月17日 (18:30)
ペマ・ギャルポ氏
(政治学者)

会 長◆石田 隆
 会長功外◆藤吉一哉
 副会長◆村松邦彦
 ◆橋 克巳
 幹 事◆岡本 久
 S A A◆福嶋謙之輔
 会 計◆市川 浩
 直前会長◆岩瀬浩人
 会報委員長◆宝子山泰久

例会日: 第1・2・4 木曜日 12:30
 第3 木曜日 18:30
 第5 木曜日 18:00
 例会場: 「カンティーナ」
 逗子市新宿 1-3-35
 TEL: 046-870-6440
 事務所: 逗子市逗子 1-9-26
 萬屋ビル 2F
 TEL & FAX: 046-873-0226



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

「Let's realize Rotary !!」

— 2522 回 例会記録 2014年4月3日 —



石田会長の時間

3月21日より2週間スウェーデン、イタリアへ家族旅行をし、本朝7時に帰国しました。21日に青少年交換学生として派遣されている娘の居るスウェーデン・ストックホルムへ行き8カ月ぶりに会いました。彼女は、現地で沢山の貴重な経験をしてきた自信から以前に比べ心も大きくなっており、英語とスウェーデンを同時進行で習得するのは大変だったと思いますが、二か国ともすごく上達していて、同時に精神的な強さやタフさも具わり、逞しくなったのが印象的でした。「可愛い子には旅をさせよ」という諺がありますが、正しくその通りだと実感した次第です。

23日には娘がお世話を下さるホストファミリーの方々、ホストクラブのNorrköping RCのWeinar会長夫妻はじめカウンセラー、会員の皆さんが私たち家族の歓迎パーティーを開いて下さり現地の方々との友好を深めることが出来ました。オーロラで有名な北部の観光地・キルナ、ミラノ、フィレンツェ、水の都・ヴェネツィア、ロミオとジュリエットで有名なベローナをまわり、それぞれの歴史、文化に触れ

美味しい食事堪能してきました。スウェーデン、イタリア共消費税が高いためか物価が異常に高く驚きました。幸より逗子 RC の皆さんに「元気で頑張っています」と伝えて欲しいと言っておりました。

報 告

4月 理事会報告

- ◆4/20 地区協議会: 20名 東海大学 バスにて。
- ◆会員親睦旅行: 5月13日(火)~14日(水)長野・山梨方面、予算案別紙。京都紫野 RC 参加 14名。
- ◆5月理事会は 5/8 に開催
- ◆5/28 葉山 RC との合同例会。親睦ゴルフは無し。
- ◆5/29 逗子海岸花火大会鑑賞 逗子開成海洋センターにて 親睦活動委員会が主催

スウェーデンの交換学生 エレンさんのお父様 Jarl Tersin さんが来日、例会に出席。ご挨拶はエレンさんが日本語に通訳。



■ニコニコBOX 本日合計 ¥41,000 累計¥ 1,604,000

石田君…今日7時に Sweden から帰国しました。Welcome Mr. Tersin.
 市川君、毛利君、菊池君、藤吉君、山本(由)君、大野君…田中会員、卓話よろしくお願ひします。
 桐ヶ谷君…3月の前回例会で誕生祝いを頂きました。
 森澤君…スピーチ終わってほっとしてます。
 矢部(房)君…田中会員、卓話よろしく。その後のサクラさんも楽しみです。早速花見に行きました。
 桐田君…整形外科に行ってきます。
 寺嶋君…大きな津波が来ないで皆さんに会えることに感謝。
 安藤君…自然は素晴らしい、一雨ごとに暖かくなっていきます。

草柳君…桜満開、入学式、花冷え、日本の一番良い季節。
 村松君…桜満開、日本は入口から桜かな、素晴らしい。
 宝子山君…昨日は半日かけて逗子・鎌倉の満開の桜を満喫しました。
 矢部(光)君…春の院展を鑑賞。満開の上野公園と新宿御苑で日本人の心、咲きほこる桜を堪能。
 岡本君…せっかくの桜がこの雨でダメかも・・・。
 山本(三)さん…短い桜の命。強くたく私もがんばろう。
 山口君…桜の咲く頃は雨風にあいますネ。
 鈴木(安)君…バリ島8日間の旅。村田夫妻と楽しんでできました。
 福嶋君…怪物に異変、腰大丈夫? 安さん。

【出席報告】 会員数 49 名 (出席免除 6 名) 出席数 26 名 : 出席率 56.52% 前回修正出席率 56.52%

サーフィンを題材に「プラトニック・ラブ」の力作

『サクラへ』の出版記念



(撮影：市川会員)

4月第1例会 スピーチ

著者・田中 俊樹 会員

(職業分類：歯科医師)

この小説は、事実に基づいて書かれたフィクションです。8年前にサーファーだった親友を亡くした時に悲しみの中から書きあげました。ちょっと哲学的でなおかつ芸術性を取り入れ、純文学に仕立てて思い出を詰め込んだ作品です。

純文学と言うからには、テーマはもちろん『愛』です。言霊的には日本は、『愛の国』です。

愛っていったい何でしょうか？千差万別ですね、時と場所と相手などによって形を色々と変えます。

BC400年頃、古代ギリシャの哲学者プラトンは、愛の中でも最も崇高な愛は、精神的な純愛であると結論づけました。それをプラトニックラブと呼んでいます。私たちの日常においては、身近な人が亡くなったときにでる涙の量でこのプラトニックラブの大きさがわかるといいます。このサクラへは、プラトニックラブ満載です。主人公の気持ちを疑似体験して頂き、愛や芸術に触れ一粒の涙を流して頂ければ幸いです。

現代社会は、あまりにも左脳の発展を遂げてお金や効率的な考え方が社会的にも、人間的にも優位に立っているように感じます。読者の感性や芸術性を司る右脳を刺激し、バランス感覚を取り戻せるような作品である事を願っています。

文中の芸術的な写真は、湘南で巨匠と呼ばれている横山泰介

氏のものと、私の写真を画コンテとして、中に組み込んであります。裏表紙の水彩色鉛筆画は、1996年度の葉山芸術祭で発表した作品の一部で、後ろに書かれた鉛筆画は、娘の田中里奈、イラストは、小玉譲二氏の作品です。

★現在、映画を作成するための資金集めをインターネット上のmotion- gallery.net というサイトで行います。ご寄付をよろしくお願い申し上げます。主役のサクラも募集中です。

★来たる5月11日(日曜日)に10時から5時までの間だけ、田中歯科クリニック内をギャラリーとして、開放します(無料)。同時に家内の田中公子モニカが、ノーシュガースウィーツ(ローフード)のお料理教室を行います。予約制(1500円)13時~14時半。



一九九六年発表 水彩色鉛筆画

Toshiki

藤吉年度(2014年) 地区協議会・出席者氏名

2014年4月20日(日) 登録11:30~ 東海大学で
貸切バスで 逗子市役所前に 午前9:50に集合 担当：葉山太一

次年度会長	藤吉 一哉	次年度国際奉仕部門	安藤 脩二
次年度幹事	葉山 太一	次年度青少年奉仕部門	村松 邦彦
次年度会長エレクト	桐田 吉彦	次年度R財団部門	臼井 浩
次年度クラブ奉仕部門	大野 宏一	次年度米山奨学部門	矢部 房男
次年度広報・雑誌部門	岡本 久・橘 武	クラブ研修リーダー部門	石田 隆
次年度会員維持増強部門	三宅 譲・矢部 光治	新会員部門	匂坂 祐二・寺島 正彦 長野 賢太郎
次年度職業奉仕部門	菊池 尚	地区役員・委員長	松井 一郎・岩瀬 浩人
次年度社会奉仕部門	田中 俊樹		

担当：橘 武